



亀山八幡宮



佐世保北高



眼鏡岩



八幡坂



ただいま!

老舗ジャズバー「いーぜる」で対談する中川さん(左)と三木監督(右)



映画「坂道のアポロン」 三木孝浩監督と中川大志さんが再び佐世保へ



佐世保が舞台となった映画「坂道のアポロン」の公開から約半年。佐世保を「第二の故郷」と愛してくださる三木孝浩監督と俳優の中川大志さんにあらためて佐世保を満喫していただきました。

久しぶりに佐世保に来た感想は？

中川 着いた瞬間に、撮影していたあの瞬間に戻れた気がしました。撮影中によく行っていたお店や思い出の場所を車で通ったりして、本当に故郷に帰ってきたという感じがします。

三木 「坂道のアポロン」はキャストやスタッフの熱量が高く、気持ちを込めて作った映画なので、その場所に帰ってくるとすごく熱い気持ちになりますね。

撮影中は1カ月半、佐世保に滞在されたそうですが、佐世保の好きなところは？

中川 食べ物がいっぱいところですね。お肉もお魚もハンバーガーも本当においしくて、おいしいものに救われて、撮影を頑張れたという印象です。

三木 お肉おいしかったですね。焼肉屋さんがいっぱいあって、食べ比べしてたくらい(笑)

中川 週5くらいで通ってましたね。

映画の中で印象に残っているシーンは？

中川 文化祭で千太郎と薫がセッションするシーンです。見せ場のシーンなんですけど、撮影ではたかさんの北高の生徒さんがエキストラで協力してくれました。テストが終わった後に400人くらい駆け付けてくれたんです。

三木 エキストラの皆さんも聴きながらリズムに乗って、本当に楽しんでる表情が良かったですね。一体感が生まれた撮影でした。

ロケ地・観光地巡りはいかがでしたか？

中川 久しぶりに佐世保に来て、ロケ地やよく行った場所、映画の撮影のときには行けなかった、行ってみたいかった場所にも連れて行ってもらいました。まだまだ自分の知らない素敵な場所が佐世保にはたくさんあるんだと、今回初めて知りました。また佐世保にプライベートで来たいと思います！

三木 真夏の佐世保は初めてだったんですが、夏のこの暑さと、海のブルー、緑の濃さのコントラストがすごく良いですね。今回は大志君と海にも行きましたが、今度は釣りを満喫しに、長期間でプライベートで来たいなと思っています。



小玉ユキさんを
佐世保観光名誉大使に任命！



©小玉ユキ／小学館
小玉さん自筆の似顔絵

8月17日、佐世保市と佐世保観光コンベンション協会は、1960年代の佐世保を舞台にした人気漫画「坂道のアポロン」の作者・小玉ユキさんを佐世保観光名誉大使に任命し、委嘱状を交付しました。小玉ユキさんは本市出身で、2000年に漫画家デビュー。「坂道のアポロン」は月刊flowersで2007年から12年まで連載され、ことし3月に実写・映画化されました。観光名誉大使に任命された小玉さんは「作品をきっかけに佐世保の魅力がもっと広まればうれしい」と話し、朝長市長は「今後も佐世保を題材にした作品でPRしてほしい」と激励しました。

映画「坂道のアポロン」のロケ地などに関する問い合わせ
佐世保観光情報センター
☎22・6630